

## 普及活動情勢報告（令和5年12月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

<b>四万十町で農業しませんか！ ～新・農業人フェア（大阪）でのPR～</b>	
	<p>11月25日、大阪府で「新・農業人フェア」が開催され、普及所も四万十町のブースに参加し、来場者への就農PRを行いました。</p> <p>四万十町のブースには4名の方が立ち寄り、四万十町の特徴、主要品目、就農や移住に関する支援内容など、幅広い相談に応じました。</p> <p>参加者からは「数年後にUターンしたいので就農時の有望品目を教えてほしい」「移住したいが働く場所はありますか」などの相談があり、今後につながる情報提供ができました。</p> <p>今後もこのような就農イベントに積極的に参加し、四万十町での新規就農者の確保に努めます。</p>
来場者からの相談対応	
<b>障害者雇用を考えよう！ ～関係機関が集まったの農福連携勉強会の開催～</b>	
	<p>11月29日に四万十町役場において、四万十町自立支援協議会の地域生活部会主催で、福祉関係の事業者や関係機関の職員16名が集まって、障害者雇用について意見交換を行いました。</p> <p>普及所から農福連携の考え方や管内の取組について紹介した後、2つのグループに分かれてワークショップを行いました。</p> <p>ワークショップでは、「障害を持った方は移動手段の確保が難しい」といった課題や、「農福連携に興味がある農家に実際の作業現場を見てもらおう」「事業所の近くの畑で野菜などを栽培してみたい」など、次に繋げるための幅広い意見交換ができました。</p> <p>普及所では、意見交換で出されたアイデアを参考に、実践できる事から関係者と協力して取り組んでいきます。</p>
ワークショップの様子	
<b>常温煙霧の普及に向けて ～ハウス胡瓜生産部会の現地検討会～</b>	
	<p>11月30日にJA高知県四万十ハウス胡瓜生産部会員4名が参加して、常温煙霧を導入しているハウスで現地検討会を開催しました。</p> <p>検討会では、常温煙霧機が導入されているほ場を巡回し、JAが基本的な使用方法について説明をした後、実演を行いました。普及所からは、農薬処理時の注意事項や、効果的な処理方法について周知しました。</p> <p>生産者からは、「スイッチを押すだけで農薬散布できるのは楽でいい」「使用できる農薬がもう少し欲しい」といった意見が出てきました。</p> <p>今後も関係機関と連携して個別巡回や勉強会等を実施し、キュウリの安定生産に向けて活動していきます。</p>
常温煙霧機の現地検討会	

お互いの状況を知ることから始めよう!! ～高南地域集落営農法人連絡会の設立～



普及所から情報提供

12月5日、四万十農協会館にて、高南地域の11集落営農法人と関係機関合わせて30名が集まり、「高南地域集落営農法人連絡会」が設立されました。

普及所からは、会の趣旨等を説明して合意が得られ、飼料用米の多収品種、草刈りの省力化、法人運営の留意点等について情報提供しました。

参加した法人からは、それぞれの経営状況や問題点等の報告があり、「毎年農地が集まっている」「機械導入や更新について補助事業の要件を見直してほしい」など、活発な意見交換が行われました。

次回は1月に視察研修を計画しており、関係機関と協力して法人の経営発展につなげていきます。

農福連携の推進に向けて

～四万十ふくふくまつりでの出荷調製作業体験会を開催～



ニラの調製作業の体験

12月9日、四万十町農村環境改善センターで開催された福祉イベント「四万十ふくふくまつり」において、昨年につき普及所が中心となって農福連携をPRするブースを設置しました。

ブースでは、県が作成した農福連携のパネル展示と合わせて、四万十町で農福連携の取組事例が多いニラとミョウガの出荷調製作業体験会を開催しました。

体験会には福祉関係者や事業所利用者などが参加し、アンケートでは「農福連携について理解が深まった」「ニラの調製作業は難しい」などの回答がありました。

普及所では農福連携の推進に向け、継続して勉強会や体験会の開催などに取り組んでいきます。